

科目名	人間発達学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
人間は、加齢とともに生涯にわたって心身の構造や機能が変化していくものであり、生命の誕生から環境に影響を受けている。胎児期から老年期に至る各発達段階について身体的、知的、情緒的、社会的な側面から概観し、ライフサイクルにおける成熟と衰退という点にも言及していく。また、理学療法士としていかに人間理解を深め、援助活動へ活かしていくかを検討していく。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義形式、グループワーク、チュートリアル、学生による発表などを取り入れ理解する。								
〔講師の実務経験〕								
兵庫県立のじぎく療育センターにて29年間小児理学療法に理学療法士として従事した。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
理学療法士として、不可欠な人間発達に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解し、また人間発達を実証的に理解する方法・技法についても習得する。								
回数	講義内容							
1	人間発達とはなにか							
2	発達理論							
3	発達の法則、段階、課題							
4	発達の評価、技法							
5	運動発達(乳幼児期～)							
6	学童期・青年期・成人期・老年期							
7	発達障害児・者の概要							
8	正常発達と異常発達							
定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
人間発達学	岩崎清隆 他	医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

成績は、定期試験にて評価する。